

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【公開番号】特開2007-220138(P2007-220138A)

【公開日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2007-033

【出願番号】特願2007-104626(P2007-104626)

【国際特許分類】

G 06 F 17/22 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/22 5 1 2 P

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月4日(2008.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ソース文字列をターゲット文字列へと変換する、機械により実施される方法であって：

第1文字列を複数の部分列へと分割するステップと、

前記複数の部分列を辞書を介して第2文字列に変換するステップと、

人為的に作成された単語を前記複数の部分列に対応する第3文字列として作成するステップと、

前記第2文字列および前記第3文字列を分析するステップと、

前記分析に基づいて、前記第2および第3文字列から第4文字列を構成するステップと

、
前記第4文字列に基づいて候補リストを作成するステップと、

前記候補リストから前記ターゲット文字列を選択するステップと、

前記ターゲット文字列を出力するステップ

とから構成され、前記第1文字列は前記ソース文字列を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

第1の日本語文字入力列を第2の日本語文字列に変換する方法を実施するデータ処理システムであって、前記方法は：

平仮名入力に応答して、前記平仮名入力の各部分列に関して自動的に複数の可能な片仮名候補を決定するステップと、

前記可能な片仮名候補の各々は前記平仮名入力の部分列とある1つの可能な片仮名候補との関連を示すスコアに関連づけられ、前記平仮名入力を片仮名に変換するため前記複数の可能な片仮名候補を分析するステップと、

通常の日本語辞書に前記平仮名入力の部分列に対応する1つまたはそれ以上の日本語がのっていない場合、前記分析するステップに応答し最も高いスコアを有する前記片仮名候補の1つを選択するステップと、

前記平仮名入力を表示するために前記仮名かな候補の1つを含む変換テキストを出力するステップとから構成されることを特徴とするデータ処理システム。

【請求項3】

ソース文字列を有する第1の文字列を受け取る手段と、

前記第1の文字列を複数の部分列に分割する手段と、

辞書を介して前記複数の部分列を第2の文字列に変換する手段と、
人為的に作成された言葉を、前記複数の部分列に対応した第3の文字列として作成する
手段と、

前記第2の文字列と第3の文字列を分析する手段と、
前記第2と第3の文字列を前記分析に基づいて第4の文字列を構成する手段と、
前記第4の文字列に基づいて候補リストを作成する手段と、
前記候補リストから前記ターゲット文字列を選択する手段と、
前記ターゲット文字列を出力する手段と
を備えることを特徴とするソース文字列をターゲット文字列に変換する装置。

【請求項4】

平仮名入力に応答して前記平仮名入力のそれぞれの部分列について自動的に複数の可能な片仮名候補を決定する手段と、

前記可能な各片仮名候補は前記平仮名入力の部分列とある1つの可能な片仮名候補との関連を示すスコアに関連づけられて、前記平仮名入力を片仮名文字に変換するために前記複数の可能な片仮名候補を分析する手段と、

通常の日本語辞書に前記平仮名入力の部分列に対応する1つまたはそれ以上の日本語がのっていない場合、前記分析に応答して最も高いスコアを有する前記片仮名候補の1つを選択する手段と、

前記平仮名入力を表す前記片仮名候補の1つを有する変換テキストを出力する手段と
を備えることを特徴とする第1の日本語文字列と第2の日本語文字列に変換する装置。

【請求項5】

ソース文字列からターゲット文字列に変換する方法を実行させる実行可能なコードを予め格納した機械可読媒体であって、前記方法は、

前記ソース文字列を有する第1の文字列を受け取るステップと、
前記第1の文字列を複数の部分列に分割するステップと、
辞書を介して前記複数の部分列を第2の文字列に変換するステップと、
人為的に作成された言葉を前記複数の部分列に対応した第3の文字列として作成するステップと、
前記第2の文字列と第3の文字列を分析するステップと、
前記第2と第3の文字列を前記分析に基づいて第4の文字列を構成するステップと、
前記第4の文字列に基づいて候補リストを作成するステップと、
前記候補リストから前記ターゲット文字列を選択するステップと、
前記ターゲット文字列を出力するステップと
から成ることを特徴とする機械可読媒体。

【請求項6】

第1の日本語文字入力列と第2の日本語文字列に変換する機械可読媒体であって、その方法は、

平仮名入力に応答して前記平仮名入力の各部分列についての複数の可能な片仮名候補を自動的に決定するステップと、

前記可能な各片仮名候補は前記平仮名入力の部分列とある1つの可能な片仮名候補との関連を示すスコアに関連づけられて、前記平仮名入力を片仮名文字に変換するために前記複数の可能な片仮名候補を分析するステップと、

通常の日本語辞書に前記平仮名入力の部分列に対応する1つまたはそれ以上の日本語がのっていない場合、前記分析に応答して最も高いスコアを有する前記片仮名候補の1つを選択するステップと、

前記平仮名入力を表す前記片仮名候補の1つを有する変換テキストを出力するステップ
とから構成されることを特徴とする第1の日本語文字列と第2の日本語文字列に変換する
装置。

【請求項7】

ソース文字列を有する第1の文字列を受け取る入力方法と、

前記第1の文字列を第2の文字列に変換するために結合された通常の辞書と、
人工的に作成された言葉を前記第1の文字列に基づいて第3の文字列として生成するた
めに結合された仮想辞書と、

前記入力方法に結合された形態素解析エンジンと、

前記形態素解析エンジンに結合された出力装置と

から構成され、前記形態素解析エンジンは前記第1の文字列の形態素分析を行い、前記第
2および第3の文字列に基づいて前記第1の文字列を前記ターゲット文字列に変換するこ
とを特徴とするソース文字列をターゲット文字列に変換する装置。